

令和4年度 社会福祉法人さくらんぼの里 経営計画

1. 運営方針

- (1) 利用者一人ひとりの実態に即した積極的な支援に努める。
- (2) 職員を適材適所に配属して、効率的に職務の遂行ができるようする。
- (3) 安全で清潔な生活しやすい施設設備などの環境を整備する。
- (4) 安定した運営ができるよう財政基盤を強化する。
- (5) 虐待防止法改正及び育児・介護休業法改正に伴う諸規定の整備を行う。

2. 重点目標

(1) 利用者支援

- ① 利用者の特性をふまえて、適切なサービスを提供する。
- ② 機能の低下を防ぎ、持っている能力の維持・向上を図る。
- ③ 持っている能力に応じ、自立した日常生活と社会生活ができるようにする。
- ④ 常時リスク管理に努め、利用者が安心安全に過ごせる生活環境作りに努める。
- ⑤ 虐待防止のための対策を強化する。

(2) 職員の職務及び処遇

- ① リーダー層、中堅層、若手層が相互に信頼しあい高めあう組織にする。
- ② 職員間相互の報連相(報告・連絡・相談)に努め、より一層の職員連携を強化する。
- ③ 将来的な世代交代を見据えた人材育成に努める。
- ④ 支援のあり方の向上に努め、自己研鑽に励む。
- ⑤ 育児・介護休業法改正により雇用環境整備を図る。

(3) 施設設備等の環境整備

- ① 施設内外の環境改善に努める。
- ② 業務に必要な書類の保管整理に努める。
- ③ 利用者にとって機能的に活用できる環境を整備する。
- ④ 利用者が安心して過ごせる個別対応の場を確保する。

(4) 財政基盤強化

- ① 常時適正で透明性のある財務管理に努め、見通しのある財務状況を維持する。
- ② 余裕資金が確保できるように努める。

- ③ 助成制度等を積極的に活用する。
- ④ 下請け加工作業などの生産活動を安定的に行うため、取引先の拡大に努める。
- ⑤ 自主製品や仕入れ商品等の販売網を拡大し、積極的な販売活動によって、より一層の収入増に努める。

3. 到達目標

(1) 利用者支援

- ① 利用者の平均工賃が年間15万円に達するようにする。
- ② 本人や保護者の意見を取り入れた個別支援計画に基づき、PDCA(Plan→Do→Check→Action)サイクルを踏まえて適切な支援にあたる。
- ③ ケース会議(毎月開催、利用者一人当たり年間2回以上実施)などにより、利用者一人ひとりの実情について共通理解を図り、支援の適正化に努める。

(2) 職員の職務及び処遇

- ① 業務上基本的な知識と技能を必要とする資格取得や研修受講に努める。
- ② 利用者一人ひとりに合った作業効率の正確性や効率性向上のための援助や治具などの方法を工夫する。
- ③ 利用者にとって、安定的に作業内容や量を確保できるように、取り引き先や販売網の開拓や交渉に努める。
- ④ 職員の待遇改善に努め、勤務時間内で職務遂行できるよう、職務内容や役割分担を明確化・焦点化して、効率的で効果的な職務を行う。

(3) 施設設備等の環境整備

- ① 支障のある扉の修繕を順次行う。
- ② 事務室内の書類保存を明確にし、デジタル保存管理などに努める。
- ③ 事務室内を各職員が機能的に使えるよう共有化スペースを設ける。
- ④ 新規車両を導入する。

(4) 財政基盤強化

- ① 障害者福祉サービス等報酬改定に応じた加算確保のための条件等の整備を図る。
- ② 年間余裕資金が、1%前後確保できるようにする。
- ③ 国や市及び私的な助成資金の情報収集に努め、その確保に努める。
- ④ GHの運営が円滑に実施できるよう明確な資金計画を立案する。

4. 事業別運営内容

◎ 生活の質の向上

- ・ 過ごしやすい生活の提供のために、人的・物理的な環境の整備

◎ 意思決定支援

- ・ 意見を発信できる利用者 の実情に即して 一人ひとりの理解できる方法で自己選択・決定の機会を多く取り入れる。
- ・ 旅行や祭などの活動、利用者の意向を主体に参加意識と自立度を高める支援。

◎ 権利擁護

- ・権利擁護・虐待防止等の担当職員の配置及び委員会の立ち上げ。研修参加などにおいて全職員に対する周知。

◎ 支援力向上

- ・全職員がてんかん、自閉症スペクトラム障害関連の基礎研修を受講。
- ・職務上の研修・資格の習得。外部・施設内研修の充実。
- ・外部講師を招へいし、症例研究を充実させる確な支援に繋げていく。

(1) 生活介護事業

[個々の体調、精神面を考慮しながら安定を第一に重点を置いた支援]

- ① 継続的な体験を積み重ね、外出、公共施設利用（温泉・外食）を通してルールやマナーを身に付け、社会適応力を高める。
- ② 個々の特性にあったコミュニケーションを大切に、豊かで安定した生活につなげるための環境整備に努める。
 - ・共同生活によって、他利用者との関わりと協力する場面を設定する。
 - ・健康管理…看護職員による血圧測定の継続。個別対応での運動量増加。
 - ・習慣を身に付け、場面によってマスク着用の定着を図る
- ③ 日々の生産活動は、個々に合った作業の工程・量を提供する。創作活動及び娯楽活動をとおして、経験の幅を広げながらステップアップを図る。
 - ・作業への意識づけと対応力向上の支援。

(2) 就労継続支援B型事業

① 就労活動

[利用者の力に合わせた目標の設定、作業能力の向上を図り工賃向上につなげる]

- ・自主製品…こんにゃく [市立保育園への配達]・新商品ちぎりこんにゃくの販路拡大によって増産の工夫。しそ巻き 商品バリエーションの拡大。地域貢献として子ども食堂へ食材（こんにゃく）提供の協力。
 - ・販売…販売戦略 顧客のニーズを聞き、無駄のない仕入れと魅力ある品揃えを工夫する。バザー開催内容に合わせて出店品を吟味する。
 - ・下請作業…一人ひとりの強みを伸ばし、効率を上げていく。取引事業所の拡大によって、作業の幅が広がりより専門性を個々に高めていく。
- ② 施設外支援…外部での経験を通して社会的マナーと意欲の向上を図る。
 - ③ 施設外就労…生産、作業効率の向上及び社会適応力の育成。
 - ④ 資源回収…毎日1回実施。家庭及び事業所の資源回収をとおして、社会参加と山形市ごみ減量推進へ貢献。

(3) 共同生活援助事業 グループホーム「すまいる」

2棟目の開設に伴って、男性棟と女性棟に住み分ける。男性利用者の引っ越しをスムーズに行い新たな環境に慣れるよう配慮する。

新規入居者の生活のリズム作りと、共同生活のルールを分かりやすく提示し生活の場として安心できる環境作りに配慮する。

- ① 家としてくつろぐ場の提供・自立ある生活が出来るよう、スタッフと情報を共有しながら支援する。
- ② 共同生活の一員として、誕生会や季節の行事を皆で企画し、実現に向けて調整・支援していく。
- ③ 地域の中で心地よく生活出来るように、サポートに努め地域とのつながりを保っていく。
- ④ 帰省の計画は、本人の希望と安定を考慮して家庭と調整する。
- ⑤ 休日や長期休みの過ごし方支援として、本人の希望による計画又は移動支援の活用などを取り入れ、充実した生活を提供する。

5. 中長期事業計画

項目 年度	(1)利用者支援 「福祉サービス事業拡大検討」	(2)職員の業務 「収益性ある自主製品研究及び就労支援」	(2)職員の資質 「福祉関係資格取得及び更新」	(3)施設設備等の環境整備 「施設修繕・改修」	(4)財政基盤強化
3年度（実施内容）	<ul style="list-style-type: none"> ◎ GH 建設事業の詳細計画の策定 ◎ GH2 棟目「ぴーす」建築中 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 自主製品販売先拡充 ・しそ巻き販売先拡大 ・新商品「旨みそスティック」保健所認可受け販売開始 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ ズームで遠隔により研修受講 ・受講者 15 名 ・受講回数 2 回 ・受講内容 ◎ 受講修了書授与者 6 名 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 冷房機交換(未設置) ◎ 扉の修繕(玄関・事務室・第 1 作業室に設置) ◎ 仕切り設置(食堂に設置) ◎ 不要書類廃棄処分 ◎ 第 4 作業室ガス台移動しスペース確保 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 年間 100 万円余裕資金確保
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 建貸 GH 2棟目「ぴーす」5 月開設 ◎ GH の運営安定化 ◎ 事業拡大の必要性及び事業内容の年次計画の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 自主製品の定着化及び販路拡大による生産性の充実 ◎ オオヒサよりこんにゃく販売受託=イオン産直市で販売 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 講師招へいして症例研究を充実 ・講師=佐竹真次氏(保健医療大名誉教授)年 3 回 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 事務室共有スペース化 ◎ プレハブ小屋交換→二機 ◎ 軽バン新車リース ◎ 樹木伐採 ◎ 不燃ごみ回収 ◎ 施設設備等の改修に向けた年次計画策定（下駄箱・クールダウン室等あり方） 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 年間収入 1% 余裕資金確保
5年度	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 2 棟の GH 運営 2 年目運営安定化 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 自主製品の定着化 ◎ 利用者の技能向上化 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 研修の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 施設設備等の改修資金の確保について検討 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 年間 1% 余裕剰資金確保
6年度	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 2 棟の GH 運営 3 年目運営安定化 ◎ 新事業の評価 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 自主製品の定着化 ◎ 利用者の技能向上化の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 研修の充実 ◎ 新資格取得者 1 名 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 施設設備等の改修開始 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 年間 1% 余裕資金確保
7年度	<ul style="list-style-type: none"> ◎ GH3 棟目計画 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 自主製品の定着化 ◎ 利用者の技能向上化の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 研修の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 施設設備等の改修 2 年目 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 年間 1% 余裕資金確保